

祝「飛鳥・藤原の宮都」世界文化遺産決定に関する会頭コメント

このたび、「飛鳥・藤原の宮都」がユネスコ世界遺産に登録されたことは、橿原市・桜井市・明日香村をはじめ奈良県、そして日本全体にとって歴史的な慶びであり、心より歓迎申し上げます。

この登録は、日本という国の礎が築かれた飛鳥・藤原の歴史的価値と、先人から受け継がれてきた文化遺産の普遍的な価値が世界に認められたものであり、長年にわたり保存・研究・普及活動に尽力された関係者の皆様、地域住民の皆様のご努力に深く敬意を表します。

橿原商工会議所といたしましても、この世界遺産登録を地域経済のさらなる発展につなげる絶好の機会と捉えています。国内外から多くの来訪者をお迎えするにあたり、地域の事業者が一丸となって、おもてなしの充実や魅力ある商品・サービスの提供、滞在型観光の推進などに取り組み、世界遺産の価値を地域の活力へと結び付けてまいります。

また、世界遺産は「登録」がゴールではなく、新たなスタートです。歴史・文化・自然を未来へ確実に継承するとともに、持続可能な観光と地域づくりを推進し、橿原、明日香、桜井をはじめとする周辺地域との広域連携をさらに深めながら、世界遺産「飛鳥・藤原」の発信力を高め、行政機関や関係団体、地域事業者の皆様と力を合わせ、「飛鳥・藤原の宮都」が世界に誇る文化遺産として末永く愛されるとともに、その価値が地域の未来への大きな力となるよう、全力で取り組んでまいります。